昭和26年（1951）10月23日（火曜日）　第366号　　磐城日日　　昭和26年7月19日 運輸省特別扱承認第684号　昭和25年10月6日 第三種郵便物認可　　旬刊（除月曜）　【1】

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町港廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人 長 邇 芳 郎

メモ の日今

（一八七一年）巡査置く　東京にはじめて　（岡山）吉備津彦神社祭

NHKの街頭錄音
「漁村の悩みをきく」
——當面の問題に對して活發な意見をはく——

昨二十二日午前十一時三十分より小名浜町魚市場前で行われたNHKの放送街頭錄音「漁村の悩みをきく」というテーマのもとに仙台中央放送局、内舘アナウンサーの鮮かな司会で開始された

前日の雨も今日はすつかり晴れ渡り秋空にはいわし雲が刷毛ではいたように流れて居る、市場前の繋留船の數も夥く二、三十トン級がチラホラと見えるだけ殆んどがサンマ群を追つて出漁して居るのである、集つた觀衆は千五百名もあり丁度停電日であるので心配されたが底曳組合製氷工場の好意により直通線を利用して、小松プロデユサーの説明などあつて午前十一時四十二分觀衆の拍手の中に内舘アナウンサー壇上に登り本盤錄音は四十分間の予定で開始された

小名浜在町各方面の業者や一般家庭人の活發な意見が百出して盛会裡に十二時二十二分再び万雷の拍手のうちに街頭錄音は終つたが内舘アナンサーの出題は

漁區擴張と濫獲問題

一、最近の漁の景氣について

二、濫獲とか漁区或いは漁期違反が行われていることだ、政府も政治家も方が悪い船さえ制限すればよいという考えは改むべきである、戦前より四〇%もふえた漁業者が一体船を増なくして起つて行かれるだろうか、どん〳〵漁區を擴張し漁期も延長して失業者を無くするかの現在よりもつとも大規模な機構を以つと大規模な機構を以

三、そうした規則違反はどうして起つて来なければならなかつたか、併せて漁獲の上の悩みにはどんなことがあるか

四、資材及び資金面、輸送、貯藏、魚價、底曳船整理等の諸問題について

五、そうした悩みの解決はどうしたらよいか

六、水産廳其の他の關係当局に最も望むことは何か

これに對し各層の意見を綜合要約すれば概ね左の通りである

一、これからがサンマ盛漁期でありまた久しく姿を見せなかつた鰯の見透もよいときくのでよくなると思う、現在は良好ではない

二、漁区の制限は速かに擴張してほしい、そうすれば濫獲の問題も自然と解決する

三、各縣の指導船はもう少し積極的に緊密な連絡をとり、魚群の南下とかいろいろな情報を業者に速く懇切に知らしてほしい

四、資材は高騰の一途を辿りつつあり、また金融面、特に地方銀行はいざ知らず國家銀行が借金は漁船を質つても支拂えと極めて冷嚴であり、漁があつたらそれで遂次返済するようにというような温情深い取扱がほしい農村は風水害に多大な政府補助金があるが漁業者にはそうした保證制度がない、ましてや鰯專問に生きて来た業者のこゝ数年に亘る漁皆無に対して何等の對策を施して呉れない、貯藏其の他の施設も莫大な資金を要するので現在の金詰りではなかなか思うように行かない、こうした面で水産金庫というべき水産界專問の金融機関の設置を要望する、輸送は特に水戸管理局は水産業に理解なく從来の東京鐵道局時代から見てたつた二〇%の配車である、冷凍車の配車に到つては話にならない、尚近く運賃値上げなど傳えられているが大衆魚の運賃だけは据置きとして貰いたい

魚價は資材の高騰におかまいなくどん〳〵下つていくのはやはり輸送や冷藏の不足隘路によるものであるからこの点改善が急務である

漁區の問題特に北海道入合に關しては當局は余りに一方的でもありまた北海道業者の獨占が目立ち我れ〳〵には北海道が外國のような感じさえおぼえ、水産廳なるものも北海道だけの官廳という感がする

北海道は獨占
水産行政の是正

とだ、政府も政治家もまた一般も四面海に包まれた水産國日本えの認識が余りに足りない、我れ〳〵業者は水産廳なるものが農林省に吸収されて機構が小さくなるという噂をきいているがむしろ水産省とつと大規模な機構を以

等々。

尚この錄音は十月三十日午後九時十五分より三十分間第一放送で全國に放送されることになつている

小名濱ビニロン工場
——誘致対策に就て——
縣民の協力を望む ③

一九三九年より四十年に鐘紡の矢澤博士、京大櫻田博士等により夫々耐久性ポバールせん維の製造の基礎的方法が發明された結果その工業化が企てられるに至り倉敷は最も積極的に工業化の研究を推進し、岡山中央研究所に日産十瓲の原料及びせん維製造の設備を設置したのであつてポバールとそのせん維に關する基礎的な技術研究を一九四二年に完了し、日産二百瓲の工業化試驗工場の建設に着手し一部操業したが、全部の完成を見ぬうち一九四五年の戰災に罹つた

一九四八年四月倉敷工場内に日産二百瓲の試驗工場を復活して操業を開始し、この五月合成せん維懇談会においてポバール合成せん維系は一般的にビニロンと呼ばれることになつた、一九四九年当社は富山工場（原料）及び岡山工場（せん維）の建設に着手、第一期の生産規模はそれ〳〵日産五瓲であつたが一九五〇年四月倉敷工場内の設備を日産一屯に擴張し十月富山工場、十二月岡山工場の運轉を開始するに至つたのである、そして十一月十一日富山工場に於て世界最初のビニロン生産工場の完成を記念してビニロン創業式が行われたが、この創業式には國内は勿論諸外國よりも前記ヘルマン博士等多數の權威者より祝電、祝辭がよせられビニロン創業の世界的意義が改めて認識されたのである

▼ビニロンの特質

① 摩擦耐久力がどのせん維よりも強い

② 酸、アルカリ等の藥品に侵されず、油性や海水によく耐える

③ 虫やかびがつかず、保存が容易である

④ 輕くて温くて肌觸りが非常によい

⑤ 汚れが落ち易く洗濯しやすい

⑥ 他のせん維との調和性に富み、混紡、混織に適している

▼ビニロンの用途

① 被服用…靴下、肌着、着尺、フエルト帽子、手袋、縫糸等

② 日用品家具用…バラソル、アンプレラ、カーテン、マット等

③ 工業用…ろ過布、パツキング、抄紙フエルト、電解隔膜、作業衣手袋等

④ 漁業用…漁網、釣糸、ロープ等

⑤ 其の他…天幕、ロープ、ケーブル、外科縫糸等

以上のように倉敷のビニロンは種々の製品に造られ被服用としてはその強さ、輕さ、肌觸りの良さに廣く歓迎されており、各種用途に好評を博しているが生産と共に染色性も、耐熱性、彈力性も著しく改善され、その用途は益々廣く開拓されている、特に混紡性、混織性の勝れていることはビニロンの大きな特質でビニロンに今後さらに大きな市場性が期待される所以であるビニロンの原料は總て國産資源たる石灰石炭、電氣等でここにビニロンのわが國經濟に及ぼす重大な意義あることは縣民各位もよく御承知になつたことと思う

講和後われ〳〵縣民二百万の重要課題は自主的經濟の根本が豊富な只見川電源を開發して地下資源の培養にビニロン工場の工業化を推進することによつて小名濱港の飛躍發展を見るに至るものであり大竹知事も縣議会も常磐地區關係町村挙げて綜合開發的工場誘致に緊急施策を樹立し縣民の理解ある協力のもとに其の実現に邁進すべきであると信ずるものである

（筆者縣議大井川正己氏）

いなごで學校設備
渡邊村中學生の善行

渡邊村中学校では毎年いなごを獲つて學校の設備を充実させてきたが今年も例年の通り去る十七、十八の兩日全生徒一丸となつていなご獲りを實施し四石余りの收獲を得て生徒自らリヤカーを引いて小名浜方面に販賣約一万四千円の利益をみた、この生徒の仕きにより今日まで既に寫眞機、幻燈機、電氣バリカン等となつて現われ生徒達に深い喜びを與えてきた、さて今年は何になるだろうと皆でうれしい下馬評をしているが、学校当局としては運動備品を購入したいと職員間では相談がまとまつたとのことであり豫算二萬円を目標に次回のいなご獲りを実施する

讀書週間終る

湯本町公民館では開館以來二千册からの名著購入を行い、讀者から喜ばれているが讀書週間も二十一日で終り二十二日から三十一日までは圖書整理のため休館する

天氣豫報

【本日】北寄りの風曇時々晴れの天氣ですが北部山沿いには一時しぐれがあるかも知れません

【海上】こゝ二、三日おだやかな見込みです

魚菜市況 22

【小名浜中央青果市場】

▽人蔘五〇—九〇▽なす五—三一▽丸大根三〇—五〇▽ねぎ六〇—八七▽大根二〇—五六▽さつま三〇—四〇▽ごぼう八〇—一〇〇▽さといも六六—八〇▽柿(普)三五—三六▽さし柿八〇—一四〇▽玉ねぎ三七—四〇▽しようが一三〇—一四〇▽きうり七〇—一三〇▽無花果一〇〇—一二〇▽白菜六五—七八▽栗一五〇▽ほうれん草八〇▽卵一四円六〇

【小名浜魚市場】

▽さば一〇〇▽さけ一、一五〇▽小さけ八〇〇▽えび九三〇—一、三〇〇▽いか二五〇▽たら一五〇▽たこ一五〇—一七五▽どんこ一〇〇▽はも一五〇▽ぎす一八〇▽黒子四〇▽唐人二〇▽のどぐろ三〇〇

聖德院眞興長譽清居士儀葬送の際は御多忙中遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜り有難く厚く御禮申上げます
實は一々拜趨の上御禮申上ぐべき筈の處略儀乍ら紙上を以て御禮申上げます
昭和二十六年十月二十三日
江名町大字中之作
施主 吉田長一
外親戚一同

新築移轉御知らせ！
多年御愛顧を蒙つておりました 小名浜支店も御陰様を以ちまして新装な小名浜町定西二四番の新店舗に移轉し營業致しております。新築の趣旨に副い直ちに我が國産業振興のため金融の円滑を圖り、又貯蓄の増強に資するため一層誠實に実務を取扱い致します。何卒倍舊の御引立をお願い申し上げます
昭和二十六年十月二十二日
小名浜町定西二四番地
株式會社 大東相互銀行小名濱支店
支店長 若松清弥
電話九三番

〃新装な皆さんの金庫〃より早く、より懇切に、より正確にサービスを致します
賣切が迫りました!!お早く
◇千圓札一枚で
★拾万圓の寶船★
大東の寶定期
一口千円期間六ヶ月無税

【建築工事施行者】
建築請負 深山組
深山東八
小名浜町定西二九 電五六八番

映畫館に水無飴の空ケース十円の空箱十ケ又は廿円の空箱五ケ御持参下さい有効期間10月20日～11月20日まで
今村のキャラメル 10粒入10圓
水無飴 20粒入20圓
を御買上の方に普通興行大人七十圓、小人四十圓の映畫を(小人)無料招待大人20円
所 平市ひかり座のみ10月20日迄
場 湯本町三函座(11月20日迄)
催 湯本町湯本座(同)
開 小名浜磐城座(同)
特約店 町内菓子類各販賣店

油繪肖像畫揮毫
牧島如鳩先生愛弟子 馬上幸男畫伯
精魂をこめての揮毫
揮毫申込所 磐城日日新聞社

昭和26年(1951年)10月23日　(火曜日)　第366号【2】

日刊浜通信

新聞定價一ヶ月60円　一部賣3円(月曜休刊)

第三種郵便物認可

團長の責任追求

四倉町議會臨時町會

四倉町議會臨時町會は十九日午前九時より役場會議室に議員十六名出席の上開催された

▼議案第一號＝警察の用に供する財産譲渡の件は町署設止にともない警察用財産を國家地方警察福島縣本部に建物及び物品を無償にて譲渡するもので原案を可決

▼議案第二號＝四倉町稅條例改正の件は委員の手當及び旅費支給につき第六十五條を一部改正して一般職員に對する給與支給に準ずる事に改め出席一日に付き二百円、旅費は十級職員の相當額を支給することに決定した

▼議案第三號＝基本財産立木賣却の件、樹齢約四十年に達し四倉町字芳之浜六一にある檜で見込材積八百石を相當の價格をもつて賣却するものでその賣上金は國道六号線四倉町字東町地内の路面舗裝工事費負担金に充當する、これに對して酒井忠太議員により地元民の協力を得て舗裝工事の早急に完成出來るよう努力方を理事者に要望あり石井政男議員もこれに同調

▼議案第四號＝國道舗裝町負擔の件、町内國道の舗裝は縣工事によつて施工されることになつたので二十六年度町費より負擔金を支出するについて承認をもとめたもので工事個所は四倉町字本町地内の國道六號線であり工事費二百二十萬円、内町負擔金百十万円となつているが、これも原案を異議なく決定

▼議案第五號＝昭和二十六年度四倉町歳入歳出追加予算協議の件は古市諱平議員より高等学校の新築費に町当局は八百万円を負担せねばならないというが、町当局の努力がたらないと思うと力説した

花澤町長は磐高復興について他町村も寄附をなすことになり大体五萬圓程度と思うが来月上旬に決定すると報告した、次いで石井政男議員より消防團長が八月二日の不正事件に對して責任をとらず町長はその後團長のことについてどう考えているのか、町長は磐高の火災に對して野々山校長に死して責任をとるべきであると云つているが團長の責任はどうするか、また第六分団二十二名は先きに辭職願を提出した程であるから火災期に入つて吾々町民は不安を抱かざるを得ないと町長に責任を追求した、これに對して町長は自動車ポンプも修理してあり不安はないと思う、團長は鹽釜に出張中であるため招電を打つたところ明日歸るとの返事があつたから團長歸宅次第善處する旨を回答したが酒井、石井兩議員より町民の納得のゆくよう解決方を重ねて要望午前十一時半分終了した

渡邊村農協に青年連盟

渡邊村中堅青壯年層は戰後思想の頽廃と經濟の不振を嘆きその善導と經濟振興を圖るため渡邊村農業協同組合青壯年連盟を組織した、会長には柴田忍氏を推し村風の改善を圖り民主的な運營によつて生産に主力を注ぐとともに文化の向上に資することになつた

祝 國家地方警察小名浜地區警察署 開庁式

國家地方警察小名浜地區警察署

視警長署　鈴木龍之助

署長補佐　警部　渡部善正
警ら兼警務係長　警部補　宮内亀吉
江名警部補派出所長　村上正春
警備係長　警部補　渡部富男
捜査係長　警部補

小名濱町消防本部
消防長　水野政次郎
小名濱町消防署
署長　御代亀太郎
次長　田中勝榮

小名浜町消防團
團長　御代亀太郎
副團長　樋口二茂
〃　濱

小名濱町役場
町長　水野政次郎
助役　瀬國三郎
收入役　野崎昇太郎

小名濱町議會
議長　瀬彰一
議員　同

江名町消防團
團長　佐藤鶴松
外團員　同

豊間町消防團
團長　志賀重右衛門
外團員　同

泉村消防團
團長　上遠野浩
外團員　同

鹿島村消防團
團長　新妻行一
外團員　同

渡辺村消防團
團長　遠藤隆
外團員　同

縣會議員
土木常任委員会副委員長
小野義一

出す犯罪!!
明るい郷土の建設に
御協力致しませう!

日本冷藏株式會社
小名浜工場
工場長　内田正男

小名濱町鐵工組合
組合長　鈴木丑松

小名浜旅館組合
組合長　永山六郎

小名浜料飲店組合
組合長　鈴木昇七
副組合長　坂林勝三
会計　田邊與一

小名濱料飲業組合
組合長　飯塚勝
副組合長　長瀬壽
会計　大木信隆

長瀬印刷株式會社
社長　長瀬芳郎

小名浜町銀行團
東邦銀行小名濱支店
支店長　山口勇
常陽銀行小名濱支店
支店長　濱野爲吉
七十七銀行小名濱支店
支店長　藤野源治

小名浜小運搬業組合
組合長　渡邊榮一
事務長　荒川幸一

小名濱醫師團
名杏會
会長　會田亮

福島縣自家用自動車組合
小名濱支部
支部長　長瀬壽

小名濱カフエー組合
組合長　小池実
外組合員一同

小名浜建設業協會
三崎組　太田武彦
有限会社常磐土建工業社　草野道人
小名浜土木株式会社　坂本二郎
大友工務店　大友孝之進
作山組　作山安太郎
内田建設株式会社　内田岩雄
松原組　松原英次郎
柳内組　柳内庄八
小原工務所　小原松之助
野口組　野口繁
前澤組　前澤由五郎
深山組、深山東八
鈴木組　鈴木一
小林建設株式會社　小林隆一

式社郎弘一
株會二
文田浦
社長
常務眞木
總務部長小野信
本社　小名浜町辰己町無番地
電話230・272番

日本水素工業株式會社
印　クローバ
安　メタノール
硫
取締役社長　莊野精二郎
本社・工場　福島縣石城郡小名濱町高山三四
電話五〇一―五〇五・一一九
東京事務所　東京都中央區槇町二ノ七
仙台事務所　仙台市二日町一五

新鮮な鮮肉を食卓へ!

鳥桂肉店　下町　電四九八番
佐川肉店　横町
マルハチ肉店　本町通り
長瀬肉店　須賀町　電一二番
中野肉店　本町通り　電二九八番

☆て【現金】ず必ば仕上げ買上のお酒お☆

星酒店　橋本　電二九〇番
川田屋酒店　愛宕下　電三四五番
仙坂酒店　古港　電二三一番
鶴仙酒店　榮町　電五三八番
佐藤酒店　下町　電三九八番
亀屋酒店　西町　電五八二番
加藤屋酒店　本町　電二二〇番
伊達屋酒店　沖見町　電四〇九番
丹酒店　古港　電三三三番
小松屋酒店　船引場　電(呼)四四二番

磐城貨物第一營業所
所長　菅原眞一郎
磐城貨物第二營業所
所長　志賀春雄

小名浜質屋組合
喜久屋質店　古港九五　電一一六番
門馬質店　上横町
叶屋質店　本町七五
マルタ質店　本町二五
佐川藤左エ門質店　竹町五一
カネマン質店　定西二四　電一〇七番
(毎月二日定休)

樋口呉服店　本町通り　電三〇四番
はまや衣類店　上町一　電五〇一番
華永　上町　電四八三番
共樂遊技場　上町四七

小名浜サルベージ組合
組合長　朝比奈芳郎
副組合長　金山永孚
大木福三

株式會社岡工務店小名濱出張所
所長　朝比奈芳郎
千代田重機工業株式会社
小名浜營業所
所長　大木福三
金山鋼材株式会社小名濱出張所
所長　須崎安治
株式会社日本深海
専務取締役　阿部義男
大平洋海事KK
KK日本深海小名濱出張所
所長　駒峰功